



2025 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 若林 頼房
(コード番号 3880 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画本部 広報・IR部長 北野 育
(TEL. 03-6856-7501)

経済産業省による「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業（事業 II（化学・紙パルプ・セメント等）」）採択に関するお知らせ

当社は、経済産業省が公募するエネルギー転換を図る事業に関するGX経済移行債を活用した政府支援事業「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業（事業 II：化学・紙パルプ・セメント等）」に応募し、2025 年 10 月 7 日に採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

大王グループは、2050 年度までのカーボンニュートラル実現を目指し、省エネルギーの推進やバイオマス燃料の活用など、さまざまな環境配慮の取り組みを進めています。2030 年度までの移行期には、生産活動における化石由来CO₂排出量を 2013 年度比で 46%、GHG 排出量を 20%削減することを目標に掲げ、その一環として、当社三島工場（住所：愛媛県四国中央市）に高塩素燃料に対応可能な発電設備を建設予定です。この発電設備は、塩素濃度の高い廃棄物や地域の一般廃棄物（可燃ごみ）を燃料化したもの※を利活用し、地域と連携したCO₂削減に取り組む考えです。

また、大王グループは長期ビジョン「Daio Group Transformation 2035」を掲げ、紙・板紙事業や国内外のホーム&パーソナルケア事業、新規事業の成長戦略と事業転換のタイミングを見極めつつ、再生可能エネルギーへの転換を進め、カーボンニュートラルと持続可能な経営の両立を目指してまいります。

※好気性発酵乾燥方式（トンネルコンポスト方式）で処理した後に燃料化したものに限る。

記

1. 支援事業の概要

- 1) 申請事業者 : 大王製紙株式会社
- 2) 場所 : 三島工場
- 3) 事業名 : 高塩素燃料に対応可能な発電設備新設による石炭ボイラー停止
- 4) 設備投資規模 : 272 億円
- 5) 支援上限額 : 80 億円

2. 今後の見通し

本採択が 2026 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微ですが、業績への影響が見込まれる場合には、すみやかにお知らせいたします。

以 上